

# 神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第142号(通算)

令和6年3月4日(月)発行

3月1日に33名の3年生が卒業しました。川辺高校でいろいろな活動を通じて大きく成長したと思います。淋しい気持ちもありますが、卒業生のこれから前途洋々たる未来を祝福します。さて、3月は旧暦で言う『弥生(やよい)』Webによると、草木の芽吹く「いやおい」から「やよい」となった説や、草木がいよいよ生い茂る月「木草弥や生ひ月(きくさいやおひづき)」が詰まって「やよい」となったなどの説があります。



## 卒業式式辞より

令和6年3月1日(金)

川辺高校校歌四番の歌詞には、『**ああ青春の情熱を 傾け注ぐ 川辺の**』と謳われています。皆さんは、青春を謳歌できましたか？ さらに校歌は『**我が学舎に 押し寄せる 世界文化の 大潮を**』と続き、『**新たに 巻きて押し返し 万里の岸を 洗へかし**』と結ばれています。私たちは、これからも、大きな時代の変化に晒されることと思います。その時々、ただ流されるのではなく、懸命にもがき、努力することで、それらを押し返すような気概を持って未来を切り拓く辺高生であれ。という願いが込められています。

入学式の式辞の中で、三つの願いをしました。一つ目は、「**規律ある正しい生活習慣のもとで 規範意識を持つ**」ということ。人間社会においては、一人一人の自由や幸せを維持するためにも、規律を守るということを大切です。規律ある学校生活を通じて、集団生活における、それぞれの役割の自覚と、責任を体得すること。そして、自分のことは自分で言い、他人に迷惑をかけず、自律的に行動できる人になることです。

二つ目は、「**志を高く持って、自ら積極的に学ぶ姿勢を身につける**」ということ。高校に様々な夢を描き、希望を持って進学してきました。将来の夢を実現するためには、志を高く持ち、毎日の生活の中に未来の大きな夢を描き、まず目の前にある目標に向かって挑戦することが大切です。しかし、川辺高校は、皆さんにとっては、一つの通過点でしかありません。輝かしい未来に向かって着実な歩みを進めていくには、学校を信じ、先生方を信じて、やらされているという受け身の気持ちではなく、主体的に意欲を持って学習に努めてほしいと伝えました。最後の三つ目は、「**我慢(辛抱)する心や耐える心を育てる**」ということ。新型コロナウイルス感染

症の影響を鑑みると、これまで当たり前と思われていた日常が失われたという感覚があります。あらゆる場面で、自粛や辛抱を強いられることが蔓延していました。生きるために渾身の力を傾けることや苦しみに耐えること、自分で創意工夫することなどを経験しました。コロナ禍でもたらされた新しい生活様式では、自ら考える力や積極性を失わず努力して、目標を達成する喜びや、他人への奉仕の心を失わないことを十分に体験しました。

皆さんは卒業の日を迎え、次のステージへと歩を進めて行きます。この3つの願いを高校生活で十分に会得して、これから大学や専門学校へ進学したり、就職して社会人となり、自立して飛び立ちます。その道は様々ですが、新しい世界で活躍することを期待しています。



## 生徒会募金活動報告

令和6年2月16日(金)

川辺二日市で生徒会役員が能登半島地震復興支援金が**547,766円**集まり、南九州市社会福祉協議会を通じて、日本赤十字社に送金をお願いしました。二日市で募金にご協力頂いた皆様に厚く御礼を申し上げます。



**卒業生の様子(3年次)  
対 面 式**

令和5年4月11日(火)



**御所車シャッター絵**

令和5年4月21日(金)

【美術部の力作が完成しました】



**生徒総会**

令和5年5月24日(水)



**神 戈 陵 祭 文 化 祭**

令和5年6月10日(土)



キッチンカー初登場

**神 戈 陵 祭 体 育 祭**

令和5年9月9日(土)

【フォークダンス】



【雨にも負けないぞ 黄団の応援演舞】



**芸術鑑賞会(落語)**

令和5年10月25日(水)



**3 3 km 遠 行**

令和5年11月2日(木)



**3 - 2 保 育 実 習**

令和5年12月20日(水)



**大学入学共通テスト**

令和6年1月13・14日(土・日)

